

なぜお祭りや
行事なんかするの？

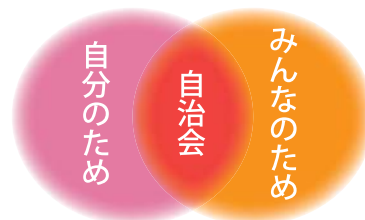


地域でなければ、
子どもにあたえて
やれないものだからです。

親は子どものために誕生会を開いたり、
入学や卒業を祝ってやることができます。け
れど、風に乗って聞こえてくる盆踊りの音や、
楽しげにならぶ屋台、浴衣姿の友達との出会
いといった情景は、親や家族の力だけではあ
たえてやれません。お祭りや行事を行うには、
たくさんの労力がいらいます。けれどそれが、
この地域で育った子どもの一生の思い出と
なって報われるのです。

自治会って なあに？

自治会は、
「自分のため」と「みんなのため」にあります



夜も安心して歩ける道、安全な公園、
緊急時に避難できる施設、お祭りの
思い出——ひとりにとっていい町は、
みんなにとってもいい町です。
「自分のため」と「みんなのため」が
重なるところ、それが自治会です。

おもな自治会活動

- ごみステーションや公園の管理
- 道路の安全確保
- 学校や公民館、市との連携
- 子どもの登下校の見守り
- 防犯灯の維持管理
- 防犯パトロール
- 防災訓練
- お祭りなどの行事の開催
- 広報物の配布

自治会は何のためにあるの？

お問い合わせ先

相模原市自治会連合会 事務局
相模原市中央区富士見 6-6-23 けやき会館内
Tel 042-753-3419
E-mail info@sagamihara-jichiren.jp
相模原市役所 市民協働推進課
Tel 042-769-8226 (直通)

● あなたの地域の自治会 ●

ホームページ 相模原市自治会連合会 検索

<http://www.sagamihara-jichiren.jp/>





入った方がいいのかな？
だけど…

自治会加入の 気になりごとアレコレ

プライバシーを守りたい！
ご近所に干渉されたく
ありません。

ご近所を警戒するのは、
「知らない人」だから
ではありませんか？

誰でも「知らない人」には警戒心を抱くもの。でも自分の住む地域では、できるだけくつろいで過ごしたいですね。自治会加入は、「知らない人」を「知り合い」に変えるチャンスです。「知り合い」が増えると、警戒心は安心へと変わります。

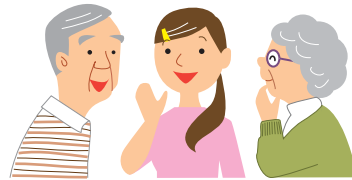
自治会員も、
同じことを思っています。

「プライバシーを守りたい、私的なことに干渉されたくない」と思うのは自治会員も同じです。自分のプライバシーを守りたいから人のプライバシーも尊重する——気持ちよいおつきあいを長続きさせるコツです。

高齢で一人暮らし。
生活や健康に
不安があります。

人との関わりがある人ほど
健康寿命が長いことを
ご存知ですか？

趣味のサークル活動やホームパーティ、立ち話など、人づきあいを楽しむ人は病気になるにくいことが分かっています。適度なご近所付き合いは、孤独がもたらす不安を遠ざけ、あなたの心身の健康に役立つ可能性があります。



ご家族とはぐれたお子さんが、避難所で「知らない人」に囲まれている場面を想像してみてください。混乱や不安のさ中では、「知っている人」の存在は大きな安らぎです。日頃のささやかなご近所付き合いは、いざというときのお守りです。

いざというときには
行政が何とかして
くれるはず。
そのために税金を
払っているんだから。

大災害のときは、
消防車や救急車は
駆けつけられません。



世帯数 31 万を超える相模原市が保有する消防車は、ボランティアである消防団に配備されたものと合わせても約 190 台。約 1600 世帯で 1 台を保有する計算です。平時でさえ一軒の火災には 6 台が出動するのですから、誰もが被災する大災害が起きたときにはとても間に合いません。また、一人の負傷者を運び出すには 6 人の力が必要だと言われます。大災害のときの事実上の命綱は、身近な人同士のささえ合いなのです。

いざというとき、お子さんが
近くにいるとは限りません。

当番をやりたくありません。
なんでそんなこと
させられるの？

コストをかけずに
住みよい町をつくるためです。

安全で清潔な町はただでは手に入りません。住民がボランティアとなり交代で地域の手入れを続けることで、高いコストを支払わずに住みよい町をつくっているのです。

当番制だから、
一人あたりの負担を
軽くできるのです。

当番が回ってくると、忙しくなったり気苦労することもあるでしょう。だから当番には期限を設けて、同じ人ばかりに負担が偏らないようにしています。おしまいの時がきたら次の人にバトンタッチ。あなたがお役目から離れている間は、別の誰かが住みよい町を守ってくれます。

